



議会だより

とうえい

CONTENTS

12月定例会、補正予算関係・主な内容及び予算額…… P2-3

一般質問ダイジェスト…………… P4-9

視察・研修報告、3月定例会日程、編集後記…………… P10

節分草<東栄町本郷地内>

のき山学校の
遊具、教材撤去処理
99万円

主な事業

金紫に建築中の橋川住宅 家賃を決定



※ 40歳未満の若者定住住宅(世帯用)

木造平屋建 3DK 73.7㎡ 3戸 月額3万円

※ 40歳未満の若者定住住宅(単身女性用)

木造2階建 1K 43.06㎡ 4部屋 月額1万8千円

顔認証システム機器購入
(マイナンバー制度のため)

40万円

選挙人名簿システム改修
(選挙権が18歳以上に対応するため)

246万円

第4回定例会 — 12月1日～10日

こんなことが決まりました

歳入

住民税 **307万円**追加(年1億1,660万円)

法人税 **261万円**追加(年1,882万円)

固定資産税 **382万円**追加(年1億7,172万円)

たばこ税 **390万円**追加(年1,970万円)

下川の森谷用水改修

200万円

深谷老人憩いの家
トイレ改修

54万円

グリーンハウス
屋根改修

681万円

岡本～大森線測量設計委託
(国道から本郷保育園方向の交差点改良)

298万円

三遠南信道残土処理場(横見)

立木伐採

2,440万円

枝葉運搬処理

2,322万円



旧明石産業跡地
基礎コンクリート運搬処理

532万円



佐久間道路 第1トンネル
(完成予想図)

敷地の建物は撤去しましたが基礎コンクリートが残っており、約1千万円の解体処理費用が必要の見込みでした。

国土交通省が三遠南信自動車道建設の残土処理のため解体費用を負担いただけるようになりましたが、その後の調査により、コンクリートは予定の約2倍になり、今回の補正予算をさらに追加補正しなければ片付けられないことになりました。

一般質問ダイジェスト 問&答



よりよい保育・教育環境のための施設整備を

加藤彰男 議員

問 保育園・中学校の施設整備の状況はどうなっているか。

答 教育長・福祉課長

中学校は適切な整備を行えば今後も十分な機能が発揮できる。安全性・長寿命化を確保し、現場の意見も伺い整備していく。保育園は本郷・下川ともに建築後30年以上経っており、不具合も多くなっているが、こまめに修繕改修して対応している。

問 中学校のヘリポートの防音対策やエアコン設置が必要ではないか。また震災時の防災マニュアルは整備されているか。

答 教育長

ヘリポート活動時は運動場や体育館では影響があるが、教室は窓を閉めればさほど影響がない。エアコンは緊急度・重要度も考慮して、財源問題も勘案しながら可能な限り、教育環境整備として検討したい。

問 保育園の遊具や給食室の整備充実が必要ではないか。

答 福祉課長

遊具・給食室は今後の

保育所整備(認定こども園・町内1園化)を検討するなかで考えていきたい。食育を進めることも検討したい。

子どもの成長を支え見守る行政のあり方

問 保護者や子ども

の声が学校や行政に届くことが大切である。子どもたちへのアンケートや保護者との意見交換の場はどうなっているか。

答 教育長

小学校では「連絡帳」や職員会議で問題の共有化と早期解決を図っている。中学校は月1回程度のアンケートと内容によっては先生との相

談の場を設けている。保護者とも日々の連絡や必要に応じてカウンセラーとの面談を設けている。保護者との意見交換は、学校・PTAとも相談して実施していきたい。

問 「いじめ防止対策推進法」に基づいた取り組みは進めているのか。

答 教育長

喫緊の課題であり、郡内町村でも「基本方針・計画」を立てながら情報を共有化していくことで一致した。なるべく早く「いじめ防止対策」の基本方針を作りたい。

問 新城市は保育園から高校生まで成長を記録する「親子成長記録ファイル」を始めている。町としても検討するべきではないか。

答 福祉課長

新城市の取り組みが始まって間がないので、その有用性を聞きながら検討したい。

問 高校生の通学補助は増額された

が、私立高校の授業料補助(*)は据え置かれている。町として更なる応援が必要ではないか。

答 教育長

近隣町村とも協議して検討していきたい。

*私立高校授業料補助
1万2千円(年額)



ヘリポートから見た中学校校舎

町の医療・介護体制について

介護保険制度改正に伴う主な事業の展開について

山本典式 議員

問 10年後の介護難民が問われている状況の中で、残念な事に病院の老健施設が休止廃止となった。

6月議会の全協で院長から説明報告があったが町長はどのような感想を持ったか伺いたい。

答 町長

現状は日々少しずつ変わってきている。予測より患者数の減少や看護師を含めたスタッフの維持が困難となるペースが速くなっている。再度将来における病院のあり方等、無理のない病院体制を見直さなければならぬ状況であり、現在研究検討

している。

問 町長の選挙公約を踏まえ、まだ日にちの経過をみてないが報告できる様な明るい材料はないか。

答 町長

住民の健康を守るためにも医療は必ず確保していく必要がある。郡町村会で愛知県、県医師会へ要望している。

問 病院や介護施設は見方を変えれば重要な雇用の場、地方創生に取り組んでいる状況下で縮小廃止はマイナスの影響を危惧する。

答 町長

答 町長

重要な雇用の場である事には間違いない。病院せせらぎ会とも今まで以上にしっかりと協議していきたい。

問 病院の老健施設の休止廃止は介護職員の不足と聞くが、今からその対応を十分検討していかないと現各施設も同様な事態に追い込まれる可能性があると考えがどうか。

答 町長

今後は関係施設と協力しながら職員の確保に努めていきたい。町の奨

学金制度も他の施設を含めており、介護職員等の住まい、単身住宅確保も今後図っていきたい。

問 町は過疎法によって特別支援を受けている。地方創生と一体化し国県に要望、今がチャンス、熱意・努力・知恵を絞る、この三拍子が必要。院長は説明の中で「地域ぐるみで地域の将来を考えるしかない。国や県は今後の予測はしてくるが、ここの集落を保障してくれる訳ではない。そこに住む皆さんが将来のために考え最後の間際まで役割を果たせるといふ事が重要である」私はこの言葉を印象深く聞いた。この点について伺いたい。

答 町長

医師派遣の要望や看護師の助成などは行っている。今回も町村会に要

望した。地域連携のためにも電子カルテを含めた情報連携システムを整えたい。看護師確保も県の新たな制度の中で地域枠を作っていた。介護士の確保も最善の努力をしていきたい。

問 「おいでん家」の事業はどのような位置付けで展開しているのか伺いたい。

答 福祉課長

「地域支え合い活動事業」として位置付け展開していく。

問 地域包括ケアシステム構築、地域支援事業計画、地域福祉計画策定の取り組み方針について伺いたい。

答 福祉課長

2025年を目途に重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で

自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける事ができる様生活支援が一体的に提供される事を目指している。地域福祉計画策定は社会福祉法第107条の規定により地域の関係団体の参加を得て、地域の福祉、生活課題と必要なサービス内容等を提供する体制を計画的に整備する事を内容とするものである。



廃止された老健

東栄病院問題について

伊藤久代 議員

談会等の場で話し合っているところである。

答 福祉課長

申請はしていない。計画ができた段階で申請手続に入っていくので、その段階でしっかり国へ働きかけをしていくという形になると思う。

問 3町村の協議会に於いて、町長は最近話し合ったことはあるのか。

答 町長

北設楽郡医療等に関する協議会については、協議会・部会も開催し、また町村会においても、いろいろな議題の中で話会っており、現在の状況は、設楽町・豊根村にも承知をしていただいている。一番の問題は、医師の確保と看護師の確保が早急の課題であることは、共通の認識である。

答 町長

医療施設については、各町村の立場もあり、色々な考え方もあることを理解したうえで協議をしていかなければならないと思う。



東栄病院

問 東栄・設楽・豊根の3町村で病院について話し合う協議会が発足したが、その進捗状況は。

答 福祉課長

協議会では、設楽町つぐ診療所、豊根村診療所、富山診療所への医師派遣の調整、医師・看護師の確保対策等を協議し実行してきた。今後は、郡内の医療の仕組みづくりや情報の共有化など検討していきたい。

問 3町村と話し合うについては、先ず町内の意見集約が必要と思うが、どのように集約していくのか。

答 福祉課長

現在までに、医療のあり方検討委員会、東栄病院整備検討委員会等で多くの方の意見をいただいていた経緯もあり、実現可能な計画を3町村で検討し、議会でも協議した上でまとめていきたい。

問 病院について、地方創生事業対象として国に資金申請しているが、対象年度内に履行できるのか。また、その決意のほどは。

答 福祉課長

来年度で指定管理者の協定期間が10年を迎える為、今後の対応について、せせらぎ会と毎月懇

問 病院建設の資金に對する国への働きかけは、既に始まっているのか。ヒヤリング程度の段階なのか。



事務事業の現況を問う

ヒルの吸血被害を少なくするには！

問 ヒルが生息範囲を拡大し吸血被害が急激に拡大している。原因は日本ジカが急激に増加してきていることにある。なぜ東栄町内に鹿が急激に増加しているのか。その原因のひとつに、狩猟をする猟師が非常に少なくなってきた。猟友会員は、平成27年は48人で、平均年齢は63歳と、高齢化と激減が続いている。

これ以上、ヒル被害の拡大を少なくし、少しでもヒルの生息域を拡散させないために、猟友会員を減少させないことが大事ではないかと考える。

そのためには猟友会員が費やす費用を補助することは出来ないか。

「朝起きたら畑が荒らされていた。」近くに猿がいる。などの情報を役場に連絡いただき、猟友会員が現場に出向き対応する。などのシステムの構築は出来ないか。

これ以上、シカの生息数を拡大させることなく、出来れば少なくして、ヒルの拡散を防ぐことは出来ないか。

答 経済課長

質問のことについては今後検討する。

委員から議員を除くべきでは！

問 委員会・協議会などは、町長の付

森田昭夫 議員

属機関であり、行政を公平・効率よく行うための知恵袋である。

地方政治は、二元代表制のもと、町長は行政を、議会は行政を監視し、牽制することが期待されている。

この観点からすれば行政の組織である機関に議員が参加することはおかしいことになる。

さらに、町職員を任命した委員会を設置し、諮問する側に立つ行政職員が、答える側にもあり、行政が独善に走るのを抑えるという機関の役割からして間違っている。

その最たるものが、「東栄病院整備検討委員会」ではなかったか。行政側からすれば、

議員が加わることで議会の同意調達が容易になる。議員にとっては情報・役割・報酬を得られる利点がある。

また、町職員を委員にするのは、町側の意見を代弁させ、審議運営を統制することが容易になるからではないかと思われる。

私が町長の時にも、委員会を見直し、議員を委員から除こうとしたが、強い抵抗に合い、実行することができなかった。

法律などで決められている以外の機関から、議員を除くべきと思うが執行部の考え方は。

答 総務課長

議会の厳正な監視機能の発揮と、町民の直接的な町政参加を拡充するためにも議員の参画を見直す必要があると感じている。

絵本はどこに！

問 絵本は様々な効能があり、悲しい時、苦しい時、自暴自棄の時、気分が変わるなど大きな効果のある絵本がある。

そのような絵本70万円を、平成23年度に全額、国の助成金で購入し、町の蔵書として保存している。

その本を容易に貸し出してもらえるように。さらに買い増しするなどして、既存の建物を利用した絵本図書館を設置することは出来ないか執行部の考え方は。

答 教育課長

絵本は旧御殿保育園「ここにこ広場」にある。蔵書の一部を「のき山学校」(旧東部小学校)の図書室に定期的に入れ替えるなど検討したい。

英会話教室の開設を！

問 今、子どもたちの英会話教室が盛んに行われているが、小学校から英語教育が始まったからだと思う。

民間の教室は学校の授業と違い、幼児たちが楽しんで英語を勉強するノウハウを持っている。

「都会の子どもたちとの教育格差を埋めるため」「父兄の負担を少しでも少なくするため」「英語教育の不安を少しでも緩和させるため」に、公共施設の一部を、子どもたちのために無料で開放し、講師の通勤費を負担するなど民間の幼児英会話教室を町に誘致できないか。

答 教育課長

週二回小学校五・六年生の希望者を対象に開設をしている。多様な教育機会の提供を考える中で検討する。

看護・介護職員の充足対策は

山村留学制度導入は

伊藤紋次 議員

問 町内にある福祉施設あるいは事業所の看護・介護職員の充足状況を把握しているか。それに対して今までのどのような方策を講じてきたか。

答 福祉課長

看護・介護職員の充足状況については、普段から気にかけている。せせらぎ会は看護師が慢性的に不足しており、明峰福祉会は現在ギリギリの状況ということで、今後の確保が課題になっている。方策としては、東栄町保健師等修学資金貸与条例のPR、郡医療等に関する協議会では「北設楽郡看護師就職助成金」制度を設け郡内の医療機関等へ就職

する看護師に30万円を助成することも行っており2名の実績がある。また、せせらぎ会では、ハローワーク、新聞の折り込みチラシ、あるいは人材紹介会社等も利用している。各事業所に採用される看護・介護職員への優遇措置については、今後考えていきたい。

何か。

答 町長

シングルマザー等の活用については、担当課で検討をしている。

看護・介護職の確保については、喫緊の課題として前向きに取り組んで行きたいと思っている。

問 「介護難民」で溢れるであろうと言われている2025年問題解消に、ライセンスを持つシングルマザー等に目を向け、格安な住宅環境と恵まれた保育・教育環境を提供し、バックアップしてやれば必ず応募者はあると考えるが、町長の見解は如何か。

答 教育課長

小学校は1校で114名が在籍している。現在町では「まち・ひと・しごと総合戦略」で定住対策を推進するこ

ととしているので、困難な対応が予想される「山村留学制度」を導入するのではなく、その総合戦略の結果として現状の児童数は確保されていくと考えている。

問 「山村留学制度」には、人口増、児童生徒数増、少人数学級の解消、指導員・教員の採用及び増員、不採算施設のグリーンハウス、健康の館の活用等のメリットがある。リスクとしては、指導員・留学生に要する負担増、問題のある子ども

答 教育長

「山村留学制度」については、今後の検討課題とは思いますが、「まち・ひと・しごと・総合戦略」の人口ビジョンで、2040年までの人口の減少を食い止める定住政策を推進している。その中で小学校の児童は16人から18人位の適正規模で推移していくと考えているので、先ずはその内容を基に進めていきたいと思っている。

の受入れ等があるが、保育所、小・中学校の施設・設備等ハード面は問題はないと思うので、受け入れ体制のソフト面を整えれば実施は可能と考えるが教育長の見解を問う。



東栄小学校

複合福祉タウン構想の 現況について

峯田 明 議員

問 大村知事の提唱された「温泉リハビリ施設と介護施設を備えた複合福祉タウン構想」の誘致に向け、平成26年12月17日、前町長が要望書を持って陳情に出向いているが、その際の県側の感触について、更に今後の可能性について、現執行部の見解を伺いたい。

「想」は位置付けはされていない。構想自体の詳細も記録がないことなどから、今後実現することは困難と考える。

問 要望書に添付された書類の中に「東栄複合福祉タウン」のイメージ図があり、庁舎、文化ホール、新東栄病院、そして県に要望した温泉リハビリ施設と介護施設が配置され、対岸のとうえい温泉とは車輛通行可能な橋と遊歩道橋の二つの橋が描かれ、県に要望した施設が核となっていることは言うまでもない。この施設が幻と化した場合、結論ありきで開かれた「病院整備検討委

答 福祉課長

要望の際の知事の対応としては、県が直接行うことはできないが、受け皿を作った上であれば、補助することは可能とのニュアンスであった。今後の可能性については、県の計画、町の計画に「複合福祉タウン構

観光協会の早期設立と 観光資源を活用した取り組みについて

村本敏美 議員

問 観光資源を活用した集客ツアー等どのような取り組みをしてきたか。

答 経済課長

25年度に「東栄町リアル宝探し」を行い2900人の参加者があった。町独自のツアーは、近年ないが、奥三河・東三河広域観光協議会に情報提供を行っている。「味の

答 町長

県の計画、そして町の計画には、「複合福祉タウン構想」という位置付けはされていない。県の回答にある「受け皿づくり」に対しても労働力が確保できない等、現状の中で同じ方向で進める事はできないと考える。

問 郡内を結ぶ公共バスの観光面での利活用は。

答 企画課長

公共交通を利用し都

市部からの観光客の誘致を計画し、モデルコースを作り3町村の観光情報の洗い出しをしている。

問 観光協会の設立を目指している様だが、具体的に28年度のどの時期になるか。

答 経済課長

庁舎内で検討会議を立ちあげ28年の秋口を考えている。

問 観光協会と観光推進協議会との違いは。

答 経済課長

推進協議会は100%町費で運営する組

組織。協会は会員（個人・団体）が会費を負担し、町助成金・自主財源・負担金等で運営する組織である。

平成28年2月には新東名も開通し奥三河に多くの来訪者の増加により地域の活性化が期待される。奥三河に観光協会がないのは東栄町だけである。観光資源を活かしたツアー等企画運営するためにも、協会の設立は急がれると思う。近隣市町村の協会とも連携を取りながら早期に設置したい。

視察・研修報告

三遠南信 自動車道視察

11 月4日、東栄く
佐久間間のトン
ネル工事の視察をし
ました。延長約1800
mの工事も既に120
0m以上掘削が進んで
いました。開通は平成
30年度の見込みです。



また東栄く鳳来間
の工事も着手され、東
栄く佐久間道路開通
1く2年後の供用開
始を目指しています。

郡内議員研修

11 月27日、設楽町
議場において開
催されました。



愛知県企画課長を
講師に迎え「愛知県
人口ビジョン・まち・ひ
と・しごと創生総合戦
略」について説明を受
けました。
終了後、三町村議
員による「情報交換
会」を行い親睦を深め
ました。

県外視察研修

12 月15・16日、山梨
県昭和町議会を
訪問しました。



議会改革先進地の
取組みの説明を受けた
後「意見交換会」を行
いました。
当議会の改革に反
映したいと思っています。



平成28年3月定例会の開催日程(予定)



3月定例会は、
**3月4日(金)から
3月16日(水)**
までの会期で
開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承
ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

3月 4日(金)	本会議(提案説明・質疑・委員会付託)
3月 7日(月)	一般質問
3月 8日(火)	予算特別委員会
3月 9日(水)	文教福祉委員会
3月11日(金)	総務経済委員会
3月16日(水)	本会議(委員会報告・討論・表決)

編集後記

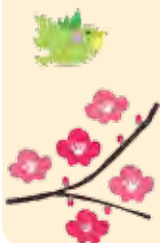
昨年の町長・議会議員
選挙から早十ヶ月。
修正と訂正、施策の見
直しと共に、前を向いて
進まなくてはならない
あわただしい年であり
ました。

課題は山積しています。
議会も「足るを知る」精
神を学び、町民の皆様が
「安心して暮らす町づく
り」を目指します。

「議会だより」は皆様に
親しんでいただけるよう
に「興味ある内容を、出来
るだけ簡略に」をモッ
トに改編して二号目。
次号はさらに読んで頂
けるように改編します。
本年もよろしくお願
い申し上げます。

編集委員会

委員長 峯田 明
副委員長 山本 典式
委員 伊藤 紋次
委員 森田 昭夫
発行責任者 原田 安生



とうえい議会だよりは、エコマーク認定の再生紙と
環境に優しい植物油インクを使用しています

発行／東栄町議会・議会だより編集委員会
〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0356-76-0505